

## 会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第14回武蔵村山市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成27年 3 月 30日(月) 午前10時00分～午前11時00分
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：佐々委員（会長）、布田委員（副会長）、志茂委員、乙幡委員、安彦委員、増田委員、齊藤委員 欠席者：大友委員、篠崎委員、染谷委員、小幡委員、藤沢委員 事務局：乙幡保育課長、小川児童担当課長、古川保育グループ主査、佐藤保育グループ嘱託員
議 題	議題 （1）第13回子ども・子育て会議の会議録について （2）子ども・子育て支援事業計画について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	内容（1）第13回子ども・子育て会議の会議録について ・ 修正点があれば4月6日までに事務局へ連絡。  （2）子ども・子育て支援事業計画について ・ 特になし。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 開会  ○佐々会長よりあいさつ。  (佐々会長) 委員として最後の会議になる。これまでの会議は、皆様のお力と事務局のお力を合わせて進められてきたと思う。ここで、最後の会議をしっかりと締めたいと思う。  2 内容 （1）第13回子ども・子育て会議の会議録について ○事務局より、第13回子ども・子育て会議の会議録について説明が行われた。※資料1  (事務局) 修正等があれば4月6日(月)までに事務局へ連絡頂きたい。  （2）子ども・子育て支援事業計画について ○事務局より、子ども・子育て支援事業計画について説明が行われた。 ※資料2  【質疑応答】  特になし  (佐々会長) 計画について、私が気になっていたところも一部あったが、市議の方の質問もよく捉えていて、きちんと問い合わせをしており、またそれに対して市の方がきちんと答えている状況がよく見えていると思う。そういう面では武蔵村山市の現在の良い部分と、負の部分、これから先の課題がかなりはつきり

したと思う。現状としては、計画を立てるというところをしっかりと見て頂けて良かったという感想を持った。

### 3 その他

○事務局より、子ども・子育て会議の委員の任期及びこれからの子ども子育て会議について説明が行われた。

(事務局) 今会議の委員の任期は8月までとなる。それまでの間、会議の開催は特に予定していない。委員の任期は委嘱から2年間となっており、来年度について事務局の考え方としては、年度末近くに今回策定した「子ども子育て支援事業計画」の各種施策の進行状況を確認し、それを踏まえ事業計画に修正すべき点があるかのご意見を頂く場として1月から3月までの間に1、2回の会議を開催したい。委員の委嘱が9月に切れるので、委嘱の場として会議を9月に1度開催させて頂くことになるかと思う。9月以降の委員の選定の際には、計画策定に関わった皆様方にお声掛けさせて頂きたいと思う。

(佐々会長) 特にご意見がないようなので、委員のおひとりおひとりに最後のご意見・ご感想を頂きたい。

(委員) 色々と施策をされている中でひとつ感じたのは、市内に祖父母や親類がいるという前提で、子育て施策の内容ができたのではないかと思われる。病児・病後児保育はあるが、実際に子どもが病気になったとき、積極的に病院に行って朝の8時に受診してそれから病児・病後児保育を使うという方は、お子さんが小学生にあがると、あまりいなくなる。小学生のお子さんが病気になっても、親御さんは家において仕事に行くという方を何人も聞いた。市の方は祖父母がいるだろうということを前提にして考えているのではないかと思う。心配しながらも子どもをおいて仕事に行っているという現状を、市の方ももう少し考えて欲しい。本当のことをどこまでアンケートに書いて良かわからなかった方や、パブリックコメントもホームページで資料を見て返すということがなかなかできなかった、期間が短く、市に本音が言えなかったという方が多くいた。特に未就学児をお持ちのお母さんは市に対して不安を持っている。祖父母や親類がいなくても、この市に留まって、この市で子育てをして、この市で楽しいことを見つけていこうという市にして頂きたいと思う。

(委員) こういった市の会議は初めての経験だったので、本当に良い勉強になった。難しい言葉が出てきても、事務局の方や会長、副会長がわかりやすいように教えて頂いたので、ひとつひとつ、こういうことはこういった言葉を使って表現するのか、と勉強になった。

(委員) このような会議は初めて出席した。委員に応募した理由としては、子育て関連施設のスタッフとして色々勉強になるのではないかと思ったので応募した。もちろん勉強になることばかりであったので、参加してよかった。本当は来年実家のある神奈川に帰る予定だったが、武蔵村山市に四年住んで、武蔵村山市が良い市だと思ったので、ここに住むことにした。それもこ

ういった会議があつて、皆さんが前向きに武蔵村山市を変えたいと思っていることがとてもよくわかったからである。私も施設を通して武蔵村山市に貢献できるように頑張っていきたい。

(委員) 事業者の代表としてこういった会議に出席させて頂き、色々な事を勉強させて頂いた。これから施設に戻って、この会議の内容を報告をするが、ここで学んだことをまた保育の方に活かしていきたい。

(委員) 今後もまた子育て会議に関わることができそうな道筋があり、ほっとした。事業者の代表として、今後も関わっていきたいと思っている。限られた時間の中で、国の方針や都道府県の方針があつて、それを通して市区町村の方針が決まるといった、ある面ではレールが敷かれているという中で、行政ペースで進んでいかざるを得ないのではないかと、最初は思っていたが、この会議に出席させて頂くと、それぞれの立場から様々な意見が出てきた。十分ではないにせよ様々な意見が出て、それが反映されたものができたというのは、ひとつの成果だと思っている。完全にいいものかどうかは別にして、そういった利用者目線のもので反映されているところが多いと思うので、これがひとつのスタートになり、大変良かったと思う。この時期は子育て新法で幼稚園や保育園が大きく変わっているところで、特に保育園では保育標準時間と保育短時間という形になり、おそらく3～4割の方は保育短時間の認定になるのではないかなと思う。その中で、朝8時半から夕方16時半までという縛られた時間が本当に利用者ニーズに合っているのかというのは非常に複雑なところで、その辺りは実際に実施して、臨機応変に変えていく必要が出てくるのではないかなと思う。この会議に出させて頂いて子ども・子育て制度の変化の中に身を置けたことは、大変ためになった。

(布田副会長) 副会長という立場で、会議では文書的に細かいことも指摘させて頂いた。これまで行政畑を歩んできて、教育委員会事務局に13年間在職し、福祉関係でも保育課長を務めるなど5年間子どもと関わってきた。またボランティアで少年野球やジュニアバレーを子どもに教えてきた。子どもが大好きなので、子どものことになると、ついつい夢中になってしまう部分があつたかなと思う。さきほど委員から意見があつた病児・病後児保育については、今後、市の方で十分検討しながら実施していくということになると思う。都知事は保育園の問題では駅に保育所がないので、駅や老人ホームでも保育所ができないかなというような待機児童の解消という話をしているが、武蔵村山市はそれほど待機児童がいないということで、この事業計画が策定されたが、絵に描いた餅にならないように、市の方でも十分チェックしながら計画を実施してもらいたい。また我々も今まで委員を務めてきた中で、何か気づいたことがあれば意見をいうことが必要だと思うので、今後とも皆さまにも頑張ってもらいたい。会議ではいろいろとありがとうございました。

(佐々会長) 事務局の方からもひとことお願いします。

(保育課長) 昨年の4月から務めさせて頂き、福祉関係やこういった会議の事務局も初めてで皆さんにはご迷惑をかけることば

かりの中で、こうした計画を取りまとめることができたのは、会長、副会長をはじめ、委員の皆さまのご協力によるものであり、感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

(児童担当課長) 昨年の10月に異動してきて、期間的には短い期間でしたが皆さまには大変お世話になり、計画が無事に策定されたと思っています。この計画をもとに、子育て世代の方がこれからも武蔵村山市にずっと住んでいきたいというような、計画の実行に向けて担当として頑張っていきたい。今後ともよろしくをお願いします。

(保育グループ主査) 今回、子ども・子育て支援事業計画ができたことは、会長、副会長をはじめ委員皆さま方のおかげだと感謝しております。この計画を絵に描いた餅にならないように、計画通りしっかり進めていきたいと思います。年に1回、進捗状況を市のHPで公表するので、それに対してご意見を頂きたい。武蔵村山市の保育行政がよくなっていくように、これからもお願いいたします。

(佐々会長) 武蔵村山市については前から色々なところで関わりがあった。子ども・子育て会議を引き受けるに当たって、委員の一人としてできるかどうかわからなかったが、子どもや福祉の色々な所に関係している研究者の一人として子育て支援に携わっているので、これまで少なからず関与してきたことから見えてきたことよりも、もう少し拡大的に見ることができるとも、しれないということで、委員を引き受けさせて頂いた。

会長職に結果的になったが、委員の皆さま方の中には、行政職の方がいたのは大変ありがたいことだったし、委員の選び方の面でも、公募の方を含めて多様な方たちがおられたと思う。そういうメンバーの中で審議をして、事務局、地方自治の行政の方たちと話を詰めながら作っていく場であるということ、一番最初に感じさせられた。その中で市の方たちの市民の目線でいくと、どのように見えるのだろうかということをお考えさせて頂いて、行政の方たちが当たり前に考えていることも、案外当たり前に見えないことが多いものだった。色々な子育てをしている方たちの立場、支援している職に就いている園長先生を初めとする方々、児童相談などで苦慮している方々のご意見を伺いながら、前もって打ち合わせしたもの他にその場で気づいたことはしっかりと質問させて頂こうと思った。そのため細かい質問もし、かなりの資料を出してもらったが、そういったことができる自治体は案外少ない。

事業計画が冊子としてまとめられる前に、それぞれの自治体の中で気になっているところを20箇所くらい検索して調べたが、その中でも武蔵村山市はよくやったというように思えた。自治体の特長はあると思うが、それでも市の中で生きている市民の抱えている子育ての現状が見えてくるものをどうするかというのが問題だった。それに対し事務局に大変丁寧に対応して頂いた。応答の丁寧さについてはこの場にいた人しかわからないが、それがきちんと資料になっていくことのおすごさを感じた。情報公開に関しても、会議録要旨となっているが、意図的に削除できなくもない部分についても丁寧に出して、武蔵村山市の負の部分が見えるところもあったが、そういったことも含めて丁寧に情報が開示されていた。パブリック

	<p>コメントの応答や市議の方の意見についての見解についても丁寧になされていたことに関しては、自治体の質のレベルを示していると思う。そういう部分を見せて頂いたことは本当にありがたかったと思う。本当に丁寧に応答して頂き、回答をきちんと次回の会議に間に合わせることは至難の業だったと思う。限られた時間のなかでよく間に合わせて頂いたと思う。その努力は事務局の方々の力量だと思うし、またなんとかこの市をよくしたい、子育てについて問われていることについてやっていきたいといった、熱い思いも伝わってきたと思う。会長職としてこの場にいさせて頂き、市民ではないサラの立場として見ることによって見えることもあるだろうと、逆に生かさせて頂こうと動いてきた。そういう面では、逆に学ばせて頂いたような気がする。そういう目線で問いかけることによって内容が変わっていくものだという事、同時に学ぶことができたと思う。これから他の自治体との計画と比較検討してみたいと思うが、そうすることによって全容が見えてくると思う。市の抱えている様々な問題点はどこかに見え隠れしながらある。その負の部分に見えるものは、ただの不満ではなく積極的な意見として出すことによって変えられる要素があるだろうと思う。アンケート調査によってマスの意見を拾い上げる一方、回収率の問題があった。その回収率が上がっていない現状というものが、市民ひとりひとりの意思の表れでもあるので、そういったものをいかに反映していくのかといったことが、この会議でも問われてきた。そういう面では委員の皆さまの忌憚のない意見を、十分汲み取れたかは別にしても、策として載せていく時に、自治体の中の相当ある各部署が見えるようになっていたので、本当に全市をあげて頑張ってもらったと思う。</p> <p>その中でなかなか進みにくい場所はどこかということも、同時に見えてきたと思う。意見や意思を示さないと無いということになるので、意見を出すことの重要性を改めて感じさせて頂いた。小冊子になって、事業計画が市のレベルで見えてくることによって、その質や進捗状況を見ることができると思うので、追っかけて見ていくといいと思う。前回の調査から住みよい町ではないという回答が40%から30%に減ってきたが、それを更に変えていけるのが、若い世代や支える世代であったりするので、皆さん方の目や皮膚で感じたことの感触からまた意見を出して頂くことが重要だと思う。事務局の方には細かいところまで色々指摘させて頂いたことを、本当によく受け止めて頂き、資料を出して頂いた。また皆さまと一緒できたことは本当に幸せだと思いました。ありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p>
--	--

<p>配 布 資 料</p>	<p>○第13回子ども・子育て会議の会議録・・・・・・・・・・資料1  ○武蔵村山市子ども子育て支援事業計画策定までの経緯・・・・・・・・・・資料2  ○武蔵村山市子ども子育て支援事業計画・・・・・・・・・・当日配布資料1  ○武蔵村山市子ども子育て支援事業計画（概要版）・・・・・・・・・・当日配布資料2</p>
----------------	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>
-------------	---

傍聴者： 0 人

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： )
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部 保育課 (内線：182 )
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)